

けんこうニュース

発行所
奥津医院
南足柄市生駒381
電話 0465-74-0024
発行人 奥津紀一

市の検診

今年度の南足柄市の特定検診・はつらつ検診、がん検診は、この3月で終了となります。今年度はご協力くださりありがとうございました。またよろしくお願い致します。

来年度は5月に開始が告げられ、6月より実施となります。

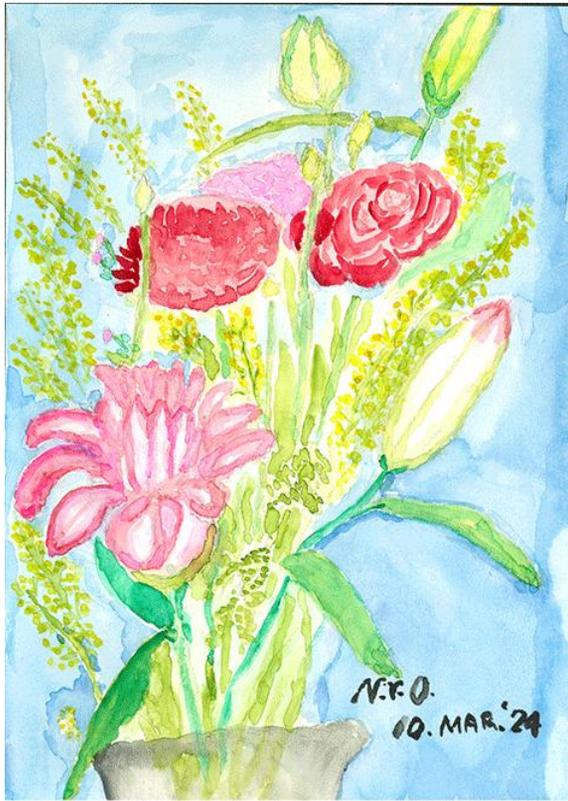


花粉症

花粉症の季節がやって来ています。

普通花粉症というのは花粉（主にスギ花粉、ヒノキ花粉、イネ、ブタクサなど）によつて鼻水、鼻づまり、眼のかゆみ、流涙などが起こることを言います。

治療薬としては抗ヒスタミン薬、ステロイド剤、生物学的製剤などがあります。一般的には抗ヒスタミン剤が多く使われています。



春の花 奥津 紀一

抗ヒスタミン剤の中には第一世代抗ヒスタミン剤と第二世代抗ヒスタミン剤があります。結局は、第二世代抗ヒスタミン薬十鼻噴霧ステロイド剤十点眼剤をどう組み合わせるかでゆくかといふことになるかと考えています。



*第一世代抗ヒスタミン剤

眠気、胃腸障害、口渇、めまい、頭痛などあるため最近では医療機関で使われることは少なくなつて来ましたが、一般市販薬としてはまだまだかなり大量に使われています。

*第二世代抗ヒスタミン剤

第一世代のような眠気、口渇などの作用の少ないものがあり、現在では非常によく沢山の薬が出されていますので医療機関ではほとんどこの種類のものを使っています。

眠気が少ないといっても各薬剤多少の違いがあります。

私は薬を下さいと言われると“これまで何という薬を使っていたか”と良く聴いてなるべく同じ薬を出すようにしています。1日1回のもの、朝1回と夕1回のものもあります。

こういう使い勝手も大切で

現在この種の薬は非常に沢山のものがありますので選択が難しいです。

*ステロイド剤

効力はかなり強いのですが、長期間使い続ける必要がありますのであまり使わないようにしています。

*アレルギー免疫療法

アレルギーエキスを皮下注射するもの、舌下免疫療法する方法がありますが、長期間続ける必要がありますが、行われていません。



湧言飛語



さくらが咲いた

裏面のさくらは怒田丘陵の春めき桜です。

三月十日に行った時は3分咲きというところだったが、まあまあ咲いていて、人通りも多くなっていました。

大判焼きなどのお店も出ていて、お祭気分も感じられました。

当院に関しましては、3月末で閉院を一時予定しましたが、医療の継承を希望される方が現れ、9月末までは現院長の診療が継続する見込みです。

院長

